

タイトル『 羊と鋼の森 』

著者： 宮下奈都

出版社： 文藝春秋

この本は、ある人の調律を見て心を動かされた青年が、調律師になり、人として成長していく物語です。風景や雰囲気、音、感情の描写が美しく、読んでいて心が澄んでいくような気分になりました。

この青年は、周りの色々な先輩、調律先で、出会う、お客さんとの関わりを通して、悩み、自身を探し、成長していきます。その他にもでてくる一人の登場人物にも注目しながら読んでほしいです。

「調律師」という、あまりなじみのない職業かもしれませんが、読んでみると、とても心がすっきりすると思います。時間があればぜひ読んでみてください。



投稿日 2016年 11月 11日

ペンネーム

あおりんこ

年齢

14